

企業訪問 資源循環レポート

株式会社 近藤

安全と環境配慮を第一に 医療廃棄物の 次世代型廃棄システムを提唱

株式会社 近藤



株式会社 近藤

■代表者／取締役社長 布施 一明

■所在地／本 社 名古屋市中区森末町2-49-1

営業所 あま市中萱津道場6番地

TEL 052-441-3345 FAX 052-441-7855

平成元年4月に創業、いち早く医療廃棄物（感染性廃棄物）の危険性に着目し、より「安全」・より「確実」・より「適正」をモットーに、産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬を行い、環境保全に取り組み感染予防に努めています。

環境目標として省資源対策となる提案及び地球温暖化防止に貢献するため、ISO14001を認証取得。また、近年ではコンプライアンスなどの社会的責任が一層重視されていることもあり、「優良産廃処理業者」に認定されています。

今号では、同社取締役社長布施一明氏に次世代モデルの「ダイライザーシーラー」などについてお話を伺いました。



(株) 近藤
取締役社長 布施一明氏

■次世代型ダイライザーシーラー (透析回路分別廃棄用シーラー)

初代のダイライザーシーラーは電源コードが必要ですが、次世代型（令和2年4月販売開始）はバッテリーを内蔵、機器が小型化されましたので、作業者が本機を肩から掛けて携帯移動が可能です。

◎開発目的

感染性廃棄物の処理を手がける同社では、国内の透析医療機関で使用されたダイライザー（透析回路）一式を、安全に且つ処理コスト削減を提案できる新方式を開発。

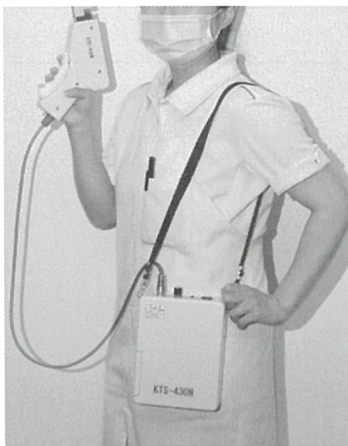
◎特色

①安全に衛生的に廃棄物処理が可能

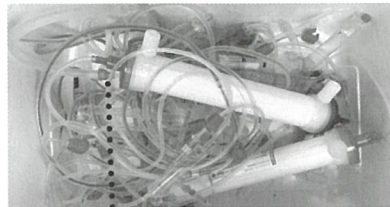
超音波で切断するため熱や臭いの発生は無く、シーリングする事により漏洩を防ぎ、二次感染を予防することができます。

②廃棄物の排出量削減につながる

廃棄物の回収時、透析回路とチューブが一体となっているため廃棄BOXに格納する際、隙間が



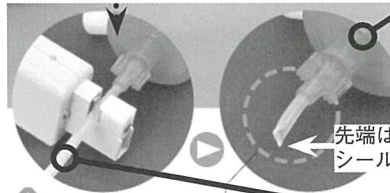
次世代型はバッテリーが内蔵され小型になり、作業者が装着してシーリングができます。



シーリング前の透析回路



シーリング後の透析回路



シーリング部分

先端は完全にシールされます



シーリング後のチューブ

でき多くの本数を収納できません。

しかし、シーリングを行うことにより、回路とチューブが分離できるので、回収時の廃棄BOXに隙間なく詰めることができます。

1箱の回収本数が増加すれば、1本あたりの処理コストが削減でき、廃棄BOXの使用量も現状より抑えることができます。

③CO₂発生量の削減につなげる

シーリングによって廃棄BOXの使用量が減少すれば、プラスチック容器の焼却によるCO₂の発生量が削減されます。

また、シーリングした透析回路は納品時の段ボール箱での回収も可能となり、さらにCO₂発生量の削減にもつながると考えます。

④緊急離脱の手段としての可能性

近年地震や水害が頻発する中、病院及び透析施設では、発災時いつでも避難できるような緊急時での対応が急がれています。ダイアライザーシーラーは、1か所を8~10秒でシーリング、1名につき30~40秒で緊急離脱が可能であるため医療施設への普及に尽力しているところです。

■医療器具・介護用品事業

医療器具の小売販売を始めとして、今後需要が高まる介護用品全般の販売(医療福祉用の電動ベッド、車椅子等)、大人用紙オムツの販売、使用済み紙オムツの回収に付帯する業務全般など高齢化社会に必要とされる事業内容にも力を入れています。

■資源有効活用

回収された廃棄物のうち、同社では血液汚染の無

いプラスチック製品、点滴パック等の空パック、ビニール袋、透析液容器、消毒液容器等は、破碎・圧縮固化されサーマルリサイクルコークス代替燃料として再利用する取り組みを行なっています。

■今後にむけて

社員の中には医療廃棄物コンシェルジュ(医療廃棄物のスペシャリスト)が在籍しておりますので、医療・介護施設に赴き、適正な医療廃棄物処理法の勉強会や分別方法、適正処理等について提案をし、日本医療機能評価機構による病院機能評価認定病院に沿った対応処理についても説明に伺う、という独自の新しい取り組みを行なっています。

災害時の緊急対応のみならず感染症拡大防止対策を含め、近隣の東海三県(愛知・岐阜・三重)の各透析施設に向け、積極的にダイアライザーシーラーの導入を推進し、医療廃棄物処理に求められる“確実”で“安全”な“適正処理”の普及に寄与したいと考えています。

平成30年に取締役社長として就任された布施社長は、「これまで培われてきたノウハウを元に、主要業務である産業廃棄物収集運搬、及び介護用品の販売を通じて市民の生活向上に貢献するとともに、限りある資源の保護と、地域ならびに地球環境の保全を全社員が認識し、世界の目標であるSDGsの理念を反映した運営を実践してまいります。」と気持ちを新たに述べられました。

※取材は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として電話取材にてご対応いただきました。

布施社長様には資料のご提供を賜り感謝申し上げます。